

財務書類（財務4表）について

① 貸借対照表（バランスシート）

貸借対照表は、町が行政サービスを提供するため保有する財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを対照的に表したものです。

表の左側を借方、右側を貸方といい、貸方・借方は同額になるためバランスシートとも呼ばれます。

借方には「資産」が表示され、将来世代に引き継ぐ財産状況や、これまで投資された資金の用途状況が示されています。

貸方には、「負債」及び「純資産」が表示され、将来世代が負担しなければならない債務の状況や、これまでの世代が負担した資金の状況が示されています。

② 行政コスト計算書

行政コスト計算書は、1年間の行政活動のうち、資産形成に直接結びつかない経費（福祉サービスなど）と、その対価となる使用料や手数料などを対比させるものです。

これまでの決算書類から把握できなかった、減価償却費や退職手当引当金などの非現金コストに関する情報も計上されます。

行政サービスを行う上で重要な財源となる町税や地方交付税などは、表中の経常収益には含まれないため、通常は大幅なコスト超過となります。

③ 純資産変動計算書

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産（資産から負債を引いたもの）の1年間の動きを明らかにするものです。

純資産がどのような財源や要因によって増減したかが示されます。

各変動額の合計が当期変動額となり、期首純資産残高と足した当期末残高がバランスシートの純資産と一致します。

④ 資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の歳計現金の出入りを「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」、「投資的収支の部」及び「財務的収支の部」に分けて表示したものです。

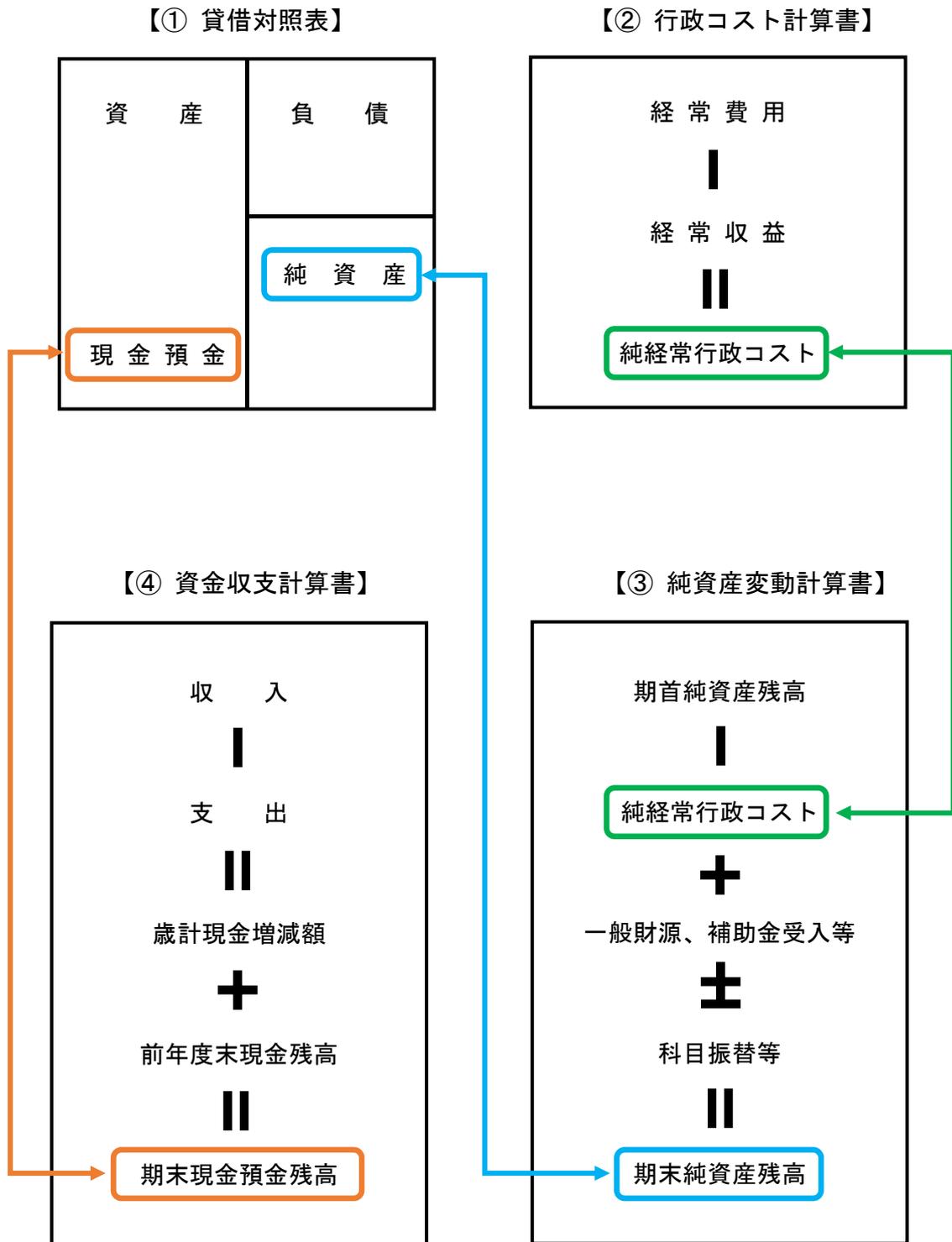
これにより、どのような活動に資金が必要とされ、それをどのように賄ったのかわかるとともに、歳計現金をどのような性質の活動で獲得し、または使用しているのかを読み取ることができます。

一般会計に地方公営事業会計以外の特別会計を合わせた会計を「一般会計等」といい、「一般会計等」について作成された財務書類を「一般会計等財務書類」といいます。

さらに、「一般会計等」に地方公営事業会計を加えて作成される財務書類を「全体財務書類」といい、全体財務書類に関連団体を加えて作成した財務書類が「連結財務書類」となります。

財務4表の相互関係

財務4表はそれぞれの数値が関連しており、全体の相互関係は以下のとおりとなります。



※ 上図において、矢印で結ばれている金額は同額となります。